

吉野熊野 国立公園

よしくま 18011 18022



環境省 近畿地方環境事務所

吉野熊野国立公園アクセスマップ



- 環境省 近畿地方環境事務所**
〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-8-25
TEL:06-6881-6504 FAX:06-6881-1700
- 吉野熊野国立公園管理事務所**
〒639-0111 和歌山県高野町長門2-29-20
TEL:0735-23-3955 FAX:0735-23-1444
- 吉野管理事務所**
〒649-0111 和歌山県吉野町上中野1-229-6
TEL:0746-34-2202 FAX:0746-64-2204
- 田辺管理事務所**
〒649-0332 和歌山県東牟婁郡新宮町久保830番地
TEL:0735-54-2510 FAX:0735-54-1540

大台ヶ原ビジターセンター
〒649-0307 和歌山県東牟婁郡新宮町久保1-1-1
TEL:0746-83-0312 FAX:0746-83-0312

宇久井ビジターセンター
〒649-0312 和歌山県東牟婁郡新宮町久保830番地
TEL:0735-54-2510 FAX:0735-54-1540

幽玄の山々、深い溪谷、黒潮流れる南海。

～森川海のつながりと悠久の歴史・文化に出会う～

よしくまの「山」

自然豊かな紀伊山地は、古くから神聖な地とされ、深い森や滝、巨木や巨木、そこにたもたれる多くの滝と立ちこめる霧が、幽玄の世界へと誘います。

大台ヶ原・大杉谷

標高1,600mに広がる原生林

三重県と奈良県の界線を南北に走る台原山脈。その南側に位置する大台ヶ原は、年間降水量が3,500mmを超える国内有数の多雨地域です。熊野灘から吹上げる湿った風が、標高1,695mの日出ヶ原を最高とする台原に流れ込み、アザやワケノミなどの多様な植物を育んでいます。また、大台ヶ原原野を流れる大杉谷は、日本三大深谷に数えられ、草津流、七ツ釜流、千尋流など8つの大滝が連続するスケール

の大きい景観が広がります。しかし、大台ヶ原では、伊勢湾台風をきっかけとする森林の変化、さらにニホンジカの増加、大台ヶ原ラブリウエーパークによる利用者の増加など複合的な要因によって、その景観が変化を遂げています。遺構群には「記伊弉諾を祀る」を古書に記したシロの楕円を流す大杉谷は、日本三大深谷に数えられ、草津流、七ツ釜流、千尋流など8つの大滝が連続するスケール

西大台地区 ～原始的な森を未来に～

450haの広大なエリアには、ブナやクマシロミ、コナラを食む多種多様な動物が暮らしています。また、絶滅が危ぶまれている「紀伊半島のツキノクグマ」や、オオタイガラランショウワウのようなど数少ない生き物も生息しています。

このような原始的な雰囲気をもった、静かな森の中で、静かに自然体験をしていただくように、西大台地区を「利用調整地区」に指定しています。「利用調整地区」への立ち入りには手続が必要です。

自然再生・西大台利用調整地区については「吉野熊野国立公園大台ヶ原」で検索

大峰山系

近畿の屋根・峻険な連峰

紀伊半島のほぼ中央に位置し、近畿最高峰の八咫岳(高1,915m)を中心として、標高約1,500m～1,000mの切り立った山々が南北約70kmに渡って連なっています。

大峰山系の峻険な大東大嶽道は「紀伊半島の霊場と参詣道」として世界遺産にも登録されています。古くから神仏が宿ることで、木々

吉野山

桜とともに息づく文化的景観

日本でも有数のヤマザクラの名所として知られる吉野山。春、山麓から吉野山頂にかけて、山一面がさくらに染まっています。

吉野山は、もともと修験道の本尊、廣王権を信仰する者が桜の木で刻す神宮に祀られたことと関係して、御木

熊野三山

よみがえる熊野信仰

熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社、熊野山守神社を総称して熊野三山と呼び、ここに至る参詣道が熊野古道です。熊野古道は、参詣者の出発点として複数のルートがあり、甚むした石や石の道を踏破に見ることであり、悠久の歴史を刻んでいます。

三重県と和歌山県の境を流れる熊野川も、古くから熊野三山を結ぶ重要な「川」の参詣道として利用されてきました。

熊野本宮大社
かつて熊野川の中央にあった社は、明治の大洪水以後、現在の場所に移築されました。ことから熊野速玉

よしくまの「川」

我が国有数の多雨地域である、大峯山脈と大台ヶ原。その大峯山脈を流す水とすする熊野川は、大台ヶ原の水を源とする支流の北山川と合流して熊野灘に注ぎ、「山」と「海」をつなぐ大運河を担っています。また、日本三大運河を担っている。また、日本三大運河の名譽を受ける熊野川。冬、雪の上から流れ落ちる滝を各所で見ることもできます。

熊野川・北山川
かつては木材を下流へ運ぶための筏流しや、生活物資を運ぶ水上交通の重要な役割を行っていた。人々の生活は、熊野川の恵みを受け、川と深く結びついてきた。北山川では、今でも筏流しにちなんで「筏下り」が体験できます。

那智大滝
熊野那智大社の別荘である熊野神社のご神体として、古くから人々の敬愛を受けてきた那智大滝は、滝首の深さが約10m、落差は133mに及びます。那智の山脈、その東方より流れ落ちる影は在徳です。

那智大滝
熊野那智大社の別荘である熊野神社のご神体として、古くから人々の敬愛を受けてきた那智大滝は、滝首の深さが約10m、落差は133mに及びます。那智の山脈、その東方より流れ落ちる影は在徳です。

那智大滝
熊野那智大社の別荘である熊野神社のご神体として、古くから人々の敬愛を受けてきた那智大滝は、滝首の深さが約10m、落差は133mに及びます。那智の山脈、その東方より流れ落ちる影は在徳です。

よしくまの「海」

熊野灘から和歌山県の千里の浜まで続く、よしくまの「海」。この海は、黒潮の流れる緩やかな海と北の海が出会うことで多種多様な海の生き物を生み出し、人々の暮らしを支えてきました。その一方で、海流や海岸の地形の複雑さから、水上交通の難所とされてきました。また、津波などの自然災害の経験からも、人々は自然の脅威を覚悟してきました。

熊野灘
熊野灘は、熊野川が太平洋に注ぐことで形成された。熊野灘は、熊野川が太平洋に注ぐことで形成された。熊野灘は、熊野川が太平洋に注ぐことで形成された。

熊野灘
熊野灘は、熊野川が太平洋に注ぐことで形成された。熊野灘は、熊野川が太平洋に注ぐことで形成された。熊野灘は、熊野川が太平洋に注ぐことで形成された。

熊野灘
熊野灘は、熊野川が太平洋に注ぐことで形成された。熊野灘は、熊野川が太平洋に注ぐことで形成された。熊野灘は、熊野川が太平洋に注ぐことで形成された。

よしくまの「楽しみ」

お祭り!
熊野川沿いの各所で、お祭りが開催されます。

サイクリング!
熊野川沿いのサイクリングコースが人気です。

スノーケリング!
熊野灘の美しい景観を堪能してください。

ダイビング!
熊野灘の海底世界を探索してください。

スノーシュー!
冬の熊野灘を歩きましょう。

ラフティング!
熊野川をラフティングしてください。

温泉!
熊野灘の温泉を堪能してください。

登山!
熊野山系を登山してください。

海水浴!
熊野灘の美しい海水浴場を堪能してください。

花火!
熊野灘の花火大会を楽しんでください。

森林浴!
熊野山系の美しい森林を堪能してください。

よしくまの「食」
熊野灘の新鮮な食材を使った料理が人気です。

茶がゆ
熊野灘の茶がゆが人気です。

柿干し
熊野灘の柿干しが人気です。

いせエビ
熊野灘のいせエビが人気です。

とちもち
熊野灘のとちもちが人気です。

柿の葉ずし
熊野灘の柿の葉ずしが人気です。

千物
熊野灘の千物が人気です。

柑橘類
熊野灘の柑橘類が人気です。